

命守る仕事体験

看護の日 徳大で小中生22人

「看護の日」の12日、看護師業務について知ってもらおう体験セミナー(徳島大学病院看護部など主催)が徳島市の同大蔵本キャンパスで開かれ、小中学生22人が看護の仕事に挑戦した。

赤ちゃんや成人男性の人形を使って七つの仕事を体験。泣き声を出す人形の赤ちゃんに悪戦苦闘

しながらおむつを交換したり、看護師から聴診器の当て方を教えてもらって心臓、肺、大腸の音を聞き比べたりした。

板野西小3年の黒川千尋さん(8)は「患者の健康をチェックしたり赤ん坊をあやしたりと大変だけど、看護師の仕事に興味が増えた」と話していた。(井上天輔)

聴診器を使い人形の肺の音を聞く児童。徳島大学蔵本キャンパス

